【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第２部門第３区分
【発行日】平成29年2月9日(2017.2.9)

【公開番号】特開2016-87767(P2016-87767A)
【公開日】平成28年5月23日(2016.5.23)
【年通号数】公開・登録公報2016-031
【出願番号】特願2014-228335(P2014-228335)
【国際特許分類】
Ｂ２４Ｂ　37/28　(2012.01)
Ｈ０１Ｌ　21/304　(2006.01)
【ＦＩ】
Ｂ２４Ｂ　37/04　Ｕ
Ｈ０１Ｌ　21/304　６２１Ａ
Ｈ０１Ｌ　21/304　６２２Ｇ

【手続補正書】
【提出日】平成28年12月21日(2016.12.21)
【手続補正１】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００１７
【補正方法】変更
【補正の内容】
【００１７】
本発明の被研磨物保持材は、複数枚の繊維強化シートを積層して形成され、全ての繊維強化シートが、全芳香族ポリエステル繊維からなる織物を繊維基材として用いたものが、被研磨物保持材の反りが起こらず、厚み精度が良好で、金属元素含有量が少なく、また、機械強度に優れ、耐久性も良好である。
【手続補正２】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００１８
【補正方法】変更
【補正の内容】
【００１８】
また、３層以上の繊維強化樹脂シートを積層する場合には、中間層に、全芳香族ポリエステル繊維からなる不織布を繊維基材として用いた繊維強化シートを使用してもよい。
全芳香族ポリエステル繊維基材からなる繊維強化シートのみを用いることで、被研磨物保持材の反りが起こらず、厚み精度が良好で、金属元素含有量が少ない被研磨物保持材が得られる。
【手続補正３】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００４３
【補正方法】変更
【補正の内容】
【００４３】
本発明に係る繊維強化樹脂シートは、例えば、以下の方法により製造すればよい。すなわち、各繊維基材に、樹脂を含浸させ、乾燥させることにより、繊維強化シートを調製する。
具体的には、熱硬化性樹脂を用いる場合、熱硬化性樹脂を溶剤に溶解した樹脂組成物を調製し、それを前記繊維基材に塗布後、バーコーターやクリアランスロールなどを用いて

余分な樹脂組成物を掻き取ることにより、繊維強化シートを調製することができる。